

2020年6月29日  
株式会社日本政策金融公庫

## 信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2020年度上期調査)

### 定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

#### 【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は39.6と前期(1.7)から大幅に上昇し、15期連続でプラスとなった。  
次期見込みは29.3とプラス幅が大幅に縮小するものの、引き続き高水準。

#### 【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は62.1と前期(▲5.2)から大幅に上昇し、18期ぶりにプラスとなった。  
次期見込みは44.7とプラス幅が大幅に縮小するものの、引き続き高水準。

#### 【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は50.0と前期(▲3.1)から大幅に上昇し、16期ぶりにプラスとなった。  
次期見込みは42.8とプラス幅が縮小するものの、引き続き高水準。

#### 【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は21.7と前期(3.5)から大幅に上昇し、2期連続でプラスとなった。  
次期見込みは24.0とやや上昇し、引き続き高水準。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ (担当: 宮本、山嶋、佐藤)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033

## ＜調査の要領＞

調査時点	2020年4月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	249の金融機関(都市銀行5、地方銀行64、第二地方銀行38、信用金庫120、信用組合22) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	225の金融機関(都市銀行5、地方銀行58、第二地方銀行32、信用金庫109、信用組合21)
回答率	90.4%

(注)  $D.I. = (\text{「増加」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや増加」と回答した金融機関の割合}) - (\text{「減少」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや減少」と回答した金融機関の割合})$ 。  
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

- 東北・北海道【27/33】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
  - 関東甲信越【77/81】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
  - 東海・北陸【44/46】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
  - 近畿【28/34】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
  - 中国【18/18】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
  - 四国【6/9】: 香川、徳島、高知、愛媛
  - 九州・沖縄【25/28】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

## 1. 中小企業向け貸出の動向について

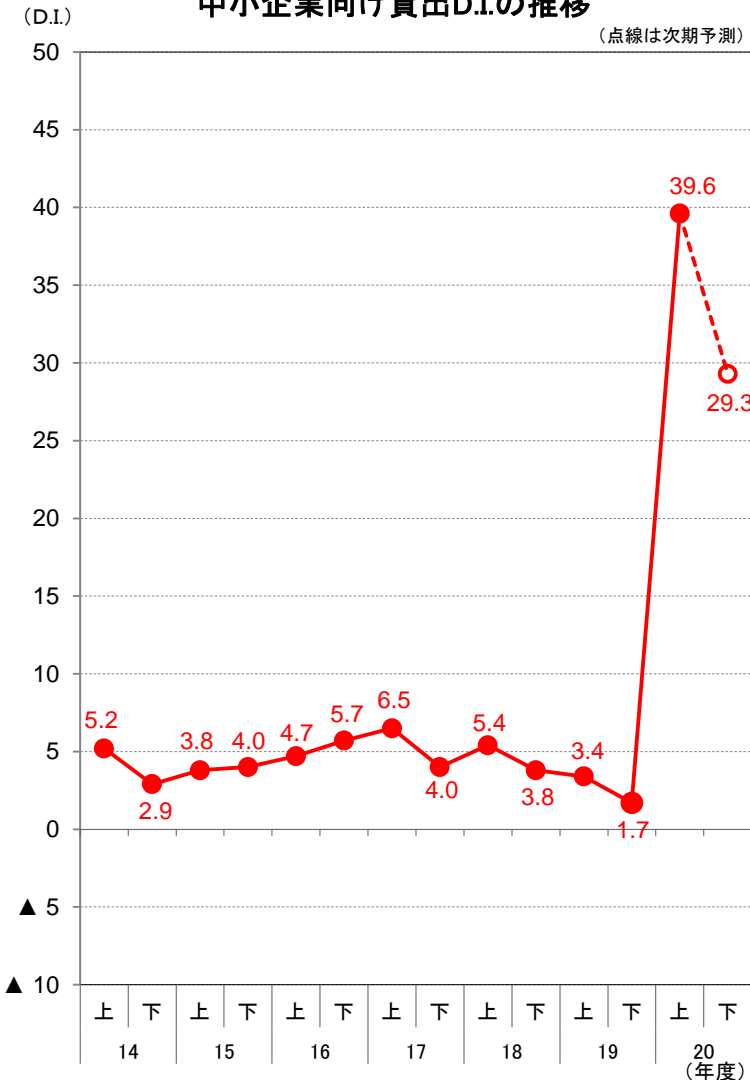
◆中小企業向け貸出D.I.は、大幅に上昇し、2013年度上期以降15期連続でプラス。次期はプラス幅が大幅に縮小するものの、引き続き高水準の見込み。

なお、中小企業向け貸出に対する新型コロナウイルス感染症の影響は、「増加の影響」が9割超を占める。

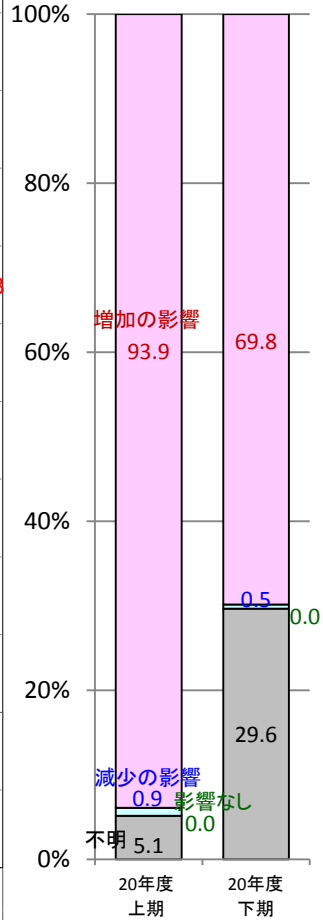
◆資金使途別にみると、設備資金は低下する一方、長期運転資金、短期運転資金は大幅に上昇。

中小企業向け貸出D.I.の推移

(点線は次期予測)

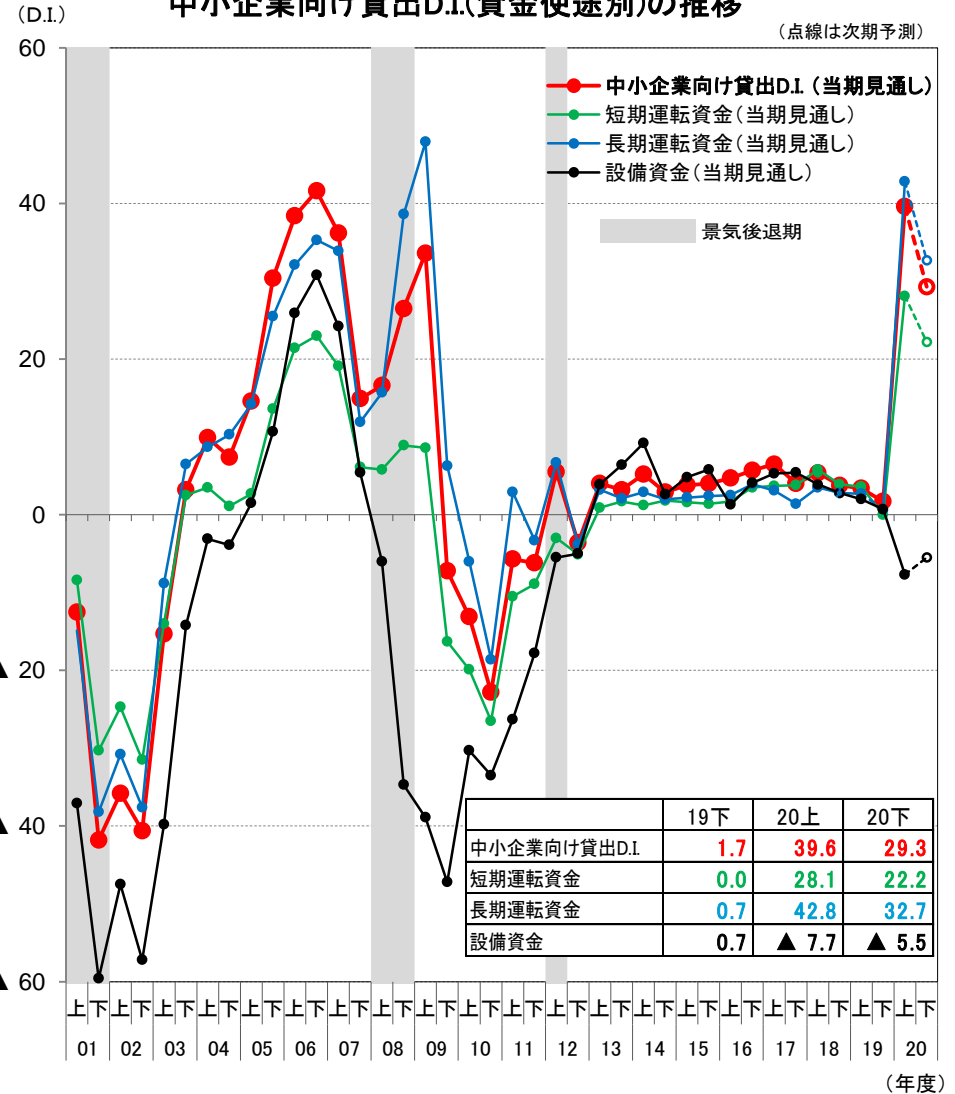


(参考)新型コロナウイルス感染症による影響



中小企業向け貸出D.I.(資金使途別)の推移

(点線は次期予測)

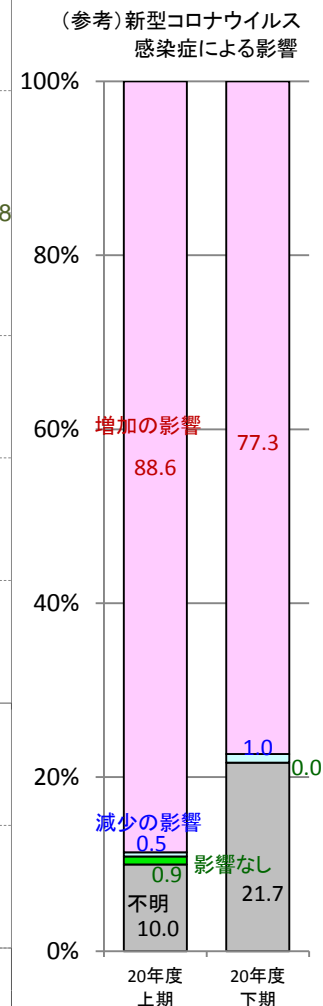
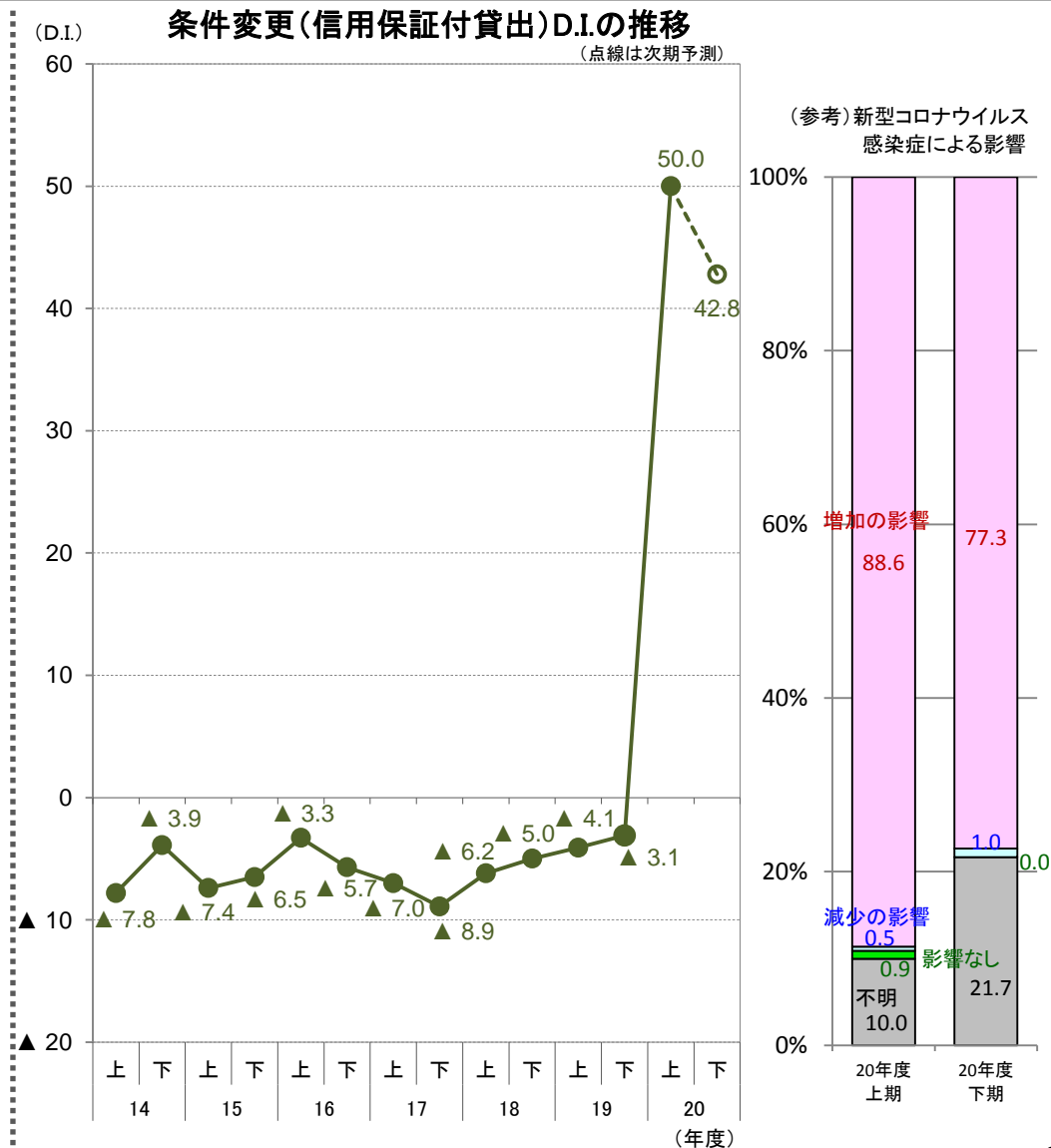
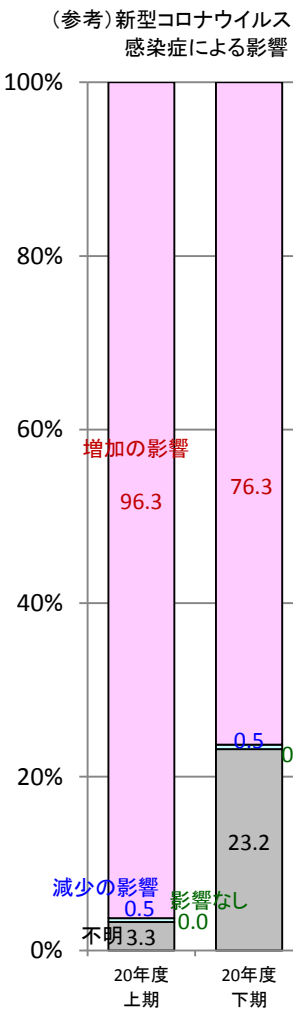
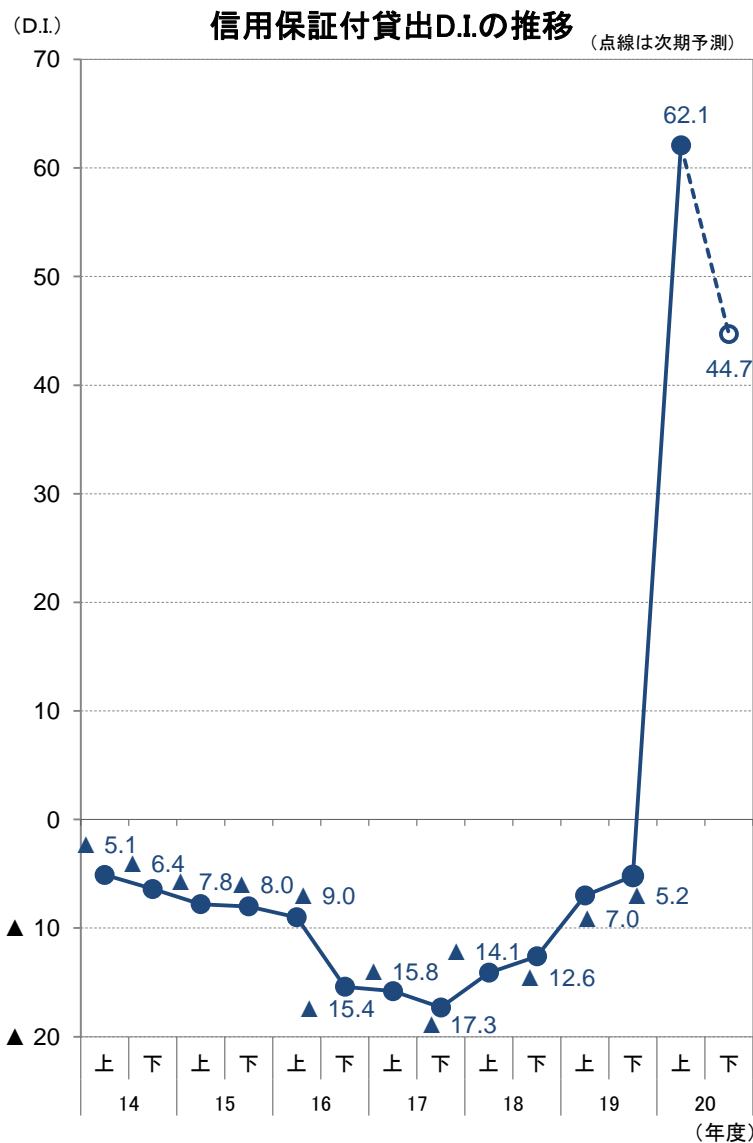


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

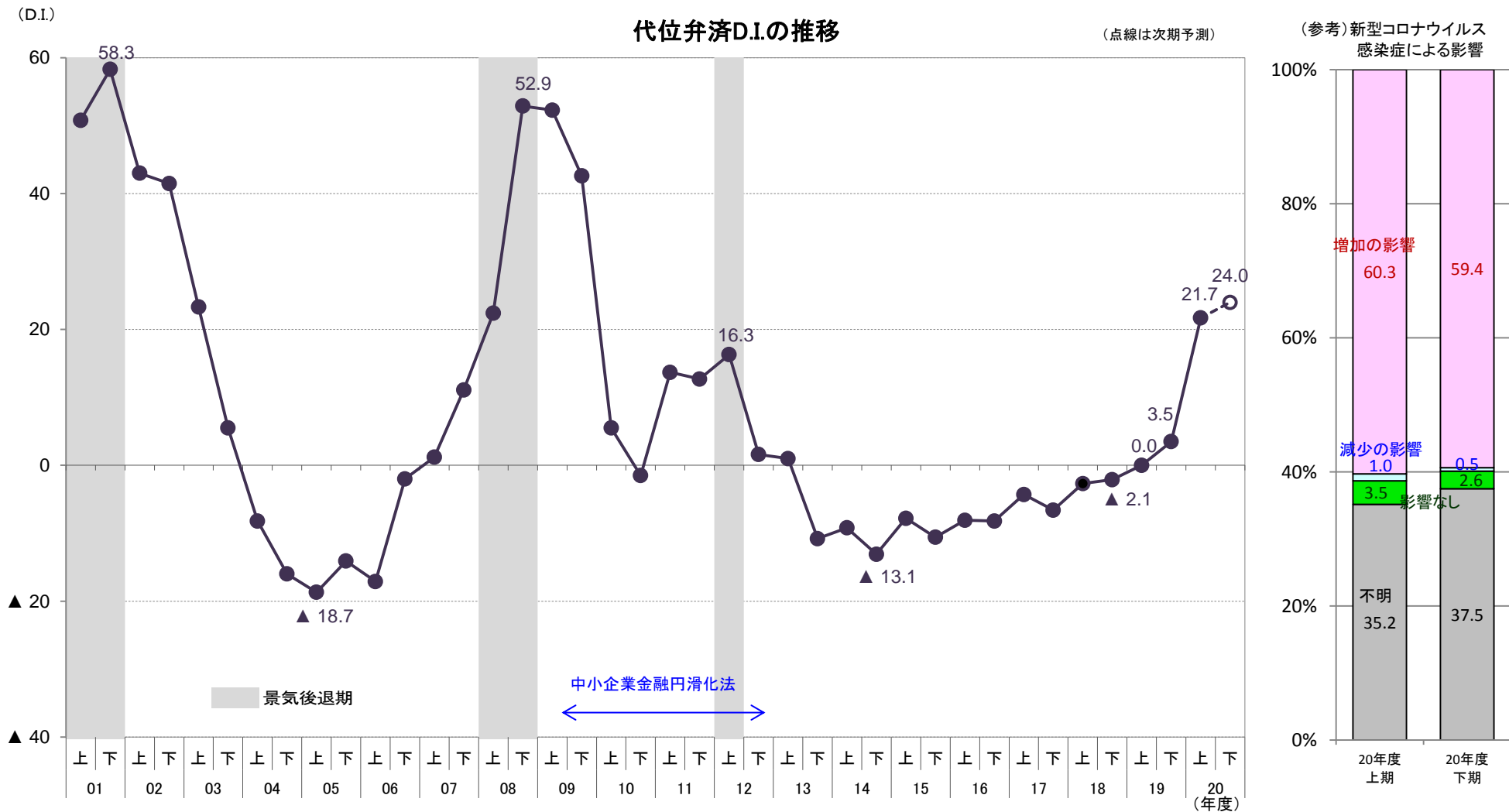
## 2. 信用保証付貸出の動向について

- ◆信用保証付貸出D.I.は、大幅に上昇し、18期ぶりにプラスとなった。次期はプラス幅が大幅に縮小するものの、引き続き高水準の見込み。  
なお、信用保証付貸出に対する新型コロナウイルス感染症の影響は、「増加の影響」が9割超を占める。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、大幅に上昇し、16期ぶりにプラスとなった。次期はプラス幅が縮小するものの、引き続き高水準の見込み。  
なお、信用保証付貸出における条件変更に対する新型コロナウイルス感染症の影響は、「増加の影響」が約9割を占める。



### 3. 代位弁済の動向について

◆代位弁済D.I.は、大幅に上昇し、2期連続でプラス。次期はやや上昇し、引き続き高水準の見込み。  
 なお、代位弁済に対する新型コロナウイルス感染症の影響は、「増加の影響」が約6割となっているが、一方で「不明」も3割を超えている。



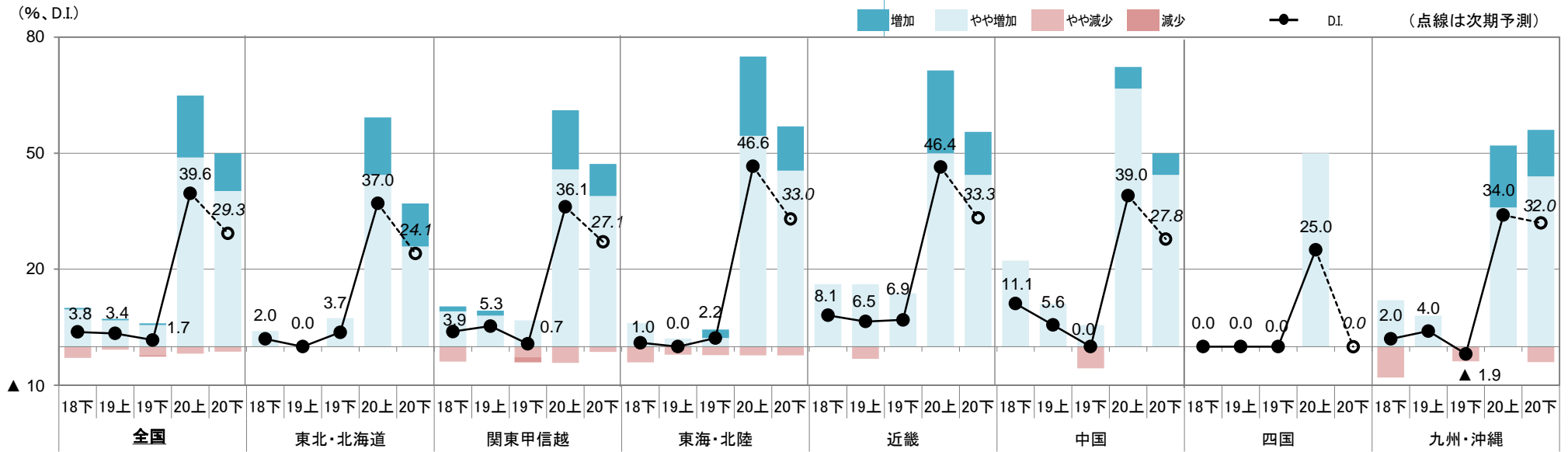
(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

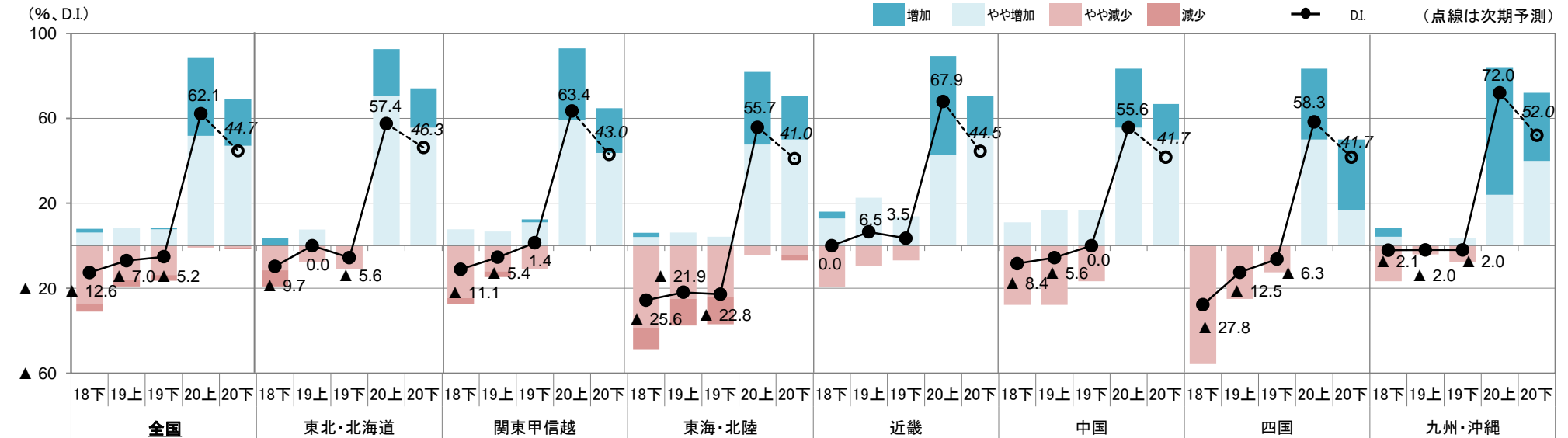
# 参考編

# 定例調査

## 1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】

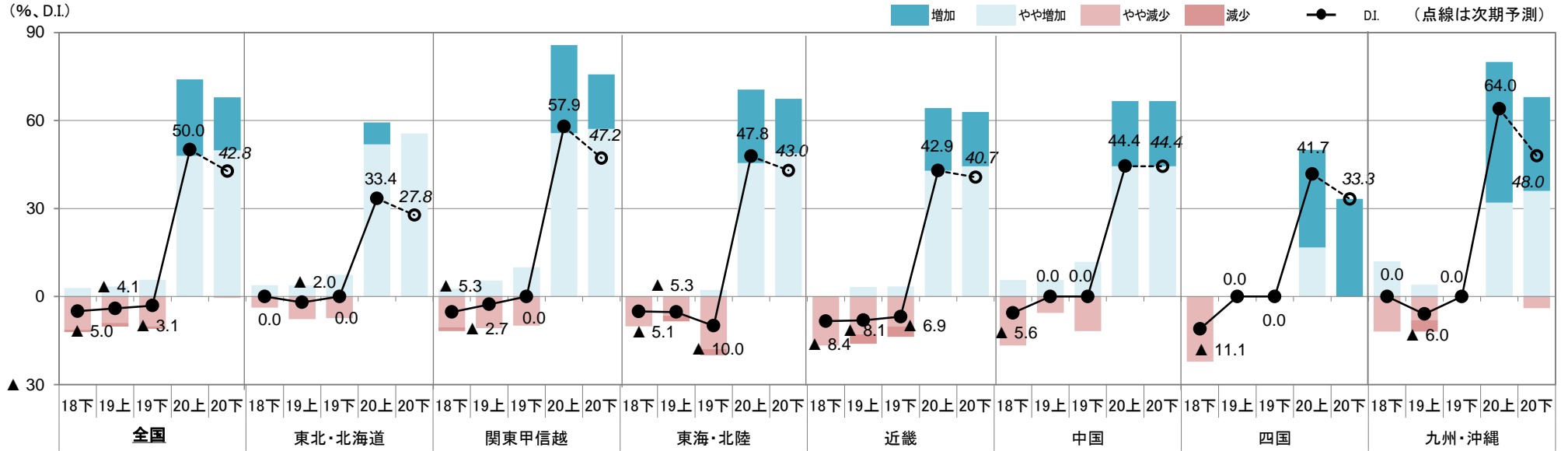


## 2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



# 定例調査

## 3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】



## 4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】

